

幕張新都心モビリティコンソーシアム モビリティ利活用WG (第5回) 議事要旨

1 日時 令和4年3月10日(木) 16:00~17:00

2 場所 オンライン開催

3 出席

イオン株式会社

イオンコンパス株式会社

イオンタウン株式会社

NECソリューションイノベータ株式会社

株式会社NTTドコモ千葉支店

株式会社建設技術研究所

JFA夢フィールド幕張温泉湯楽の里

株式会社JTBコミュニケーションデザイン

損害保険ジャパン株式会社

東日本旅客鉄道株式会社千葉支社

一般社団法人幕張ベイパークエリアマネジメント

株式会社幕張メッセ

三井不動産株式会社

神田外語大学

一般社団法人千葉県タクシー協会

公益財団法人日本サッカー協会

幕張ベイタウン自治会連合会

千葉県

千葉市

4 議題

(1) WGのこれまでの取組み

(2) 各PTの取組み状況説明

①拠点間の回遊性を高めるモビリティ検討PT

②モビリティ資源の最適化・共有化の可能性検討PT

(3) 2021年度WGとしてのまとめ・2022年度の検討事項

(4) 事務連絡

5 配布資料

資料1 WGのこれまでの取組み

資料2 拠点間の回遊性を高めるモビリティ検討PTの取組み状況資料

資料3 モビリティ資源の最適化・共有化の可能性検討PTの取組み状況資料

資料4 2021年度WGとしてのまとめ・2022年度の検討事項

■議事内容

1. 開会

2. 議題

(1) WGのこれまでの取組み

事務局より、資料1に沿って説明

(2) 各PTの取組み状況説明

ア 拠点間の回遊性を高めるモビリティ検討PT

東日本旅客鉄道株式会社千葉支社より、資料2に沿って説明。2021年度のPTとしての成果物として、2022年度に予定しているMa a S実証実験に向けてモビリティ実証実験案を提案。

イ モビリティ資源の最適化・共有化の可能性検討PT

事務局より、資料3に沿って説明。2021年度のPTとしての成果物として、モビリティ資源の可視化資料としてのグーグルマイマップの提出と、2022年度から取り組むべきモビリティ資源の最適化・共有化の具体案（素案）を提案。

ウ 意見交換

(ア) 拠点間の回遊性を高めるモビリティ検討PTが提案したモビリティ実証実験案と概ね同じ範囲において現在実施している株式会社NTTドコモ千葉支店の実証実験について、現時点の利用状況から以下のとおり説明があった。

- ・AI運行バス8台で実証実験を実施しているが、需要が多い時間帯については、予約を入れても乗車までに1時間程度待つこともある。エリアが拡大したことの影響もあると考える。また、昨年の実証実験より拡大した検見川浜や幕張西、京成幕張などの地域については、利用はあるものの全体平均よりは多くはない状況。
- ・利用者の声としては、幅広い世代にご利用いただいているが、エリア拡大したことにより、路線バスが少ない地域だったことから好評の意見をいただいている。しかし、ビジネスモデルとして考える場合は、拡大したエリアについては分析が必要。
- ・利用が多いエリアについては、イオンモール幕張新都心や海浜幕張駅、三井アウトレットパーク、ベイパーク、ベイトウンが多い。そのほかでは、京成幕張駅付近の昆陽神社や検見川浜周辺の団地群のところも利用が多い。マンション周辺だと利用が多いが、一軒家周辺だと利用が少ないためビジネスとしては検討が必要。
- ・高齢者のアプリ登録・利用については課題があると認識しているものの、利用されている高齢者の方からは便利なサービスでよいとの意見もある。

(イ) 従来より幕張新都心では、各街区の道路や道幅が広大に整備されていたり、無用な横断を避けるために植栽やガードレールなどを整備したりしてきた経緯があるため、回遊性向上の取組みを進める上での足かせになるのではないかと懸念している。そのため、例えばストレスを感じない横断歩道の設置などのインフラ整備、最短ルートを示すような共通標識の設置、自転車などのモビリティが公園内を自由に往来できないルールの規制緩和といった取組みが必要ではないかといった意見があった。

本意見に対して事務局より、現時点で答えを持ち合わせていないが、関連の取組みとしては、幕張新都心版Ma a Sの実装に向けて検討を進めているところ。例えば、インクルーシブな観点からMa a Sの経路検索機能において、障害者や外国人、車いすの方が来訪された際にストレスなく移動ができるような環境を整備したり、SDGsの観点から

二酸化炭素の排出が少ない経路検索機能を入れてみたりするなどの取組みも検討していく必要がある旨を回答した。

(ウ) 幕張新都心でパーク&ライドの取組みを進めるにあたって、会員より駐車場を予約したり、空いているスペースを駐車場として登録したりすることができる a k i p p a のサービスについて紹介あり。

(3) 2021 年度WGとしてのまとめ・2022 年度の検討事項

イオンコンパス株式会社より、資料4に沿って説明。両PTからの成果物を中心として第4回WGから変更した部分を説明。質疑応答はなし。

(4) 事務連絡

千葉市より、2022年度のコンソーシアムのWG体制の見直しに伴い、モビリティ利活用WGは横連携WGに再編されることと、これまでのPTでの検討事項は引き継いでいくことを説明。

3. 閉会